

ADSLモデム MS バージョンアップ手順

本商品のファームウェアをバージョンアップする手順について、ご説明します。ファームウェアをバージョンアップすることで、本商品の機能を強化することができます。

以下は Windows XP の画面を使用して説明しています。他の OS でも同様の手順を進めることができますが、画面は若干異なります。

提供されたファームウェアファイルをパソコン上の適当なディレクトリ（フォルダ）に置いてください。



お知らせ

ファームウェアファイルを置くディレクトリ(フォルダ)の名前に、全角文字(漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数字)および半角カタカナを使用すると、ファームウェアのバージョンアップができないことがあります。その場合は、半角英数記号文字を使用してください。

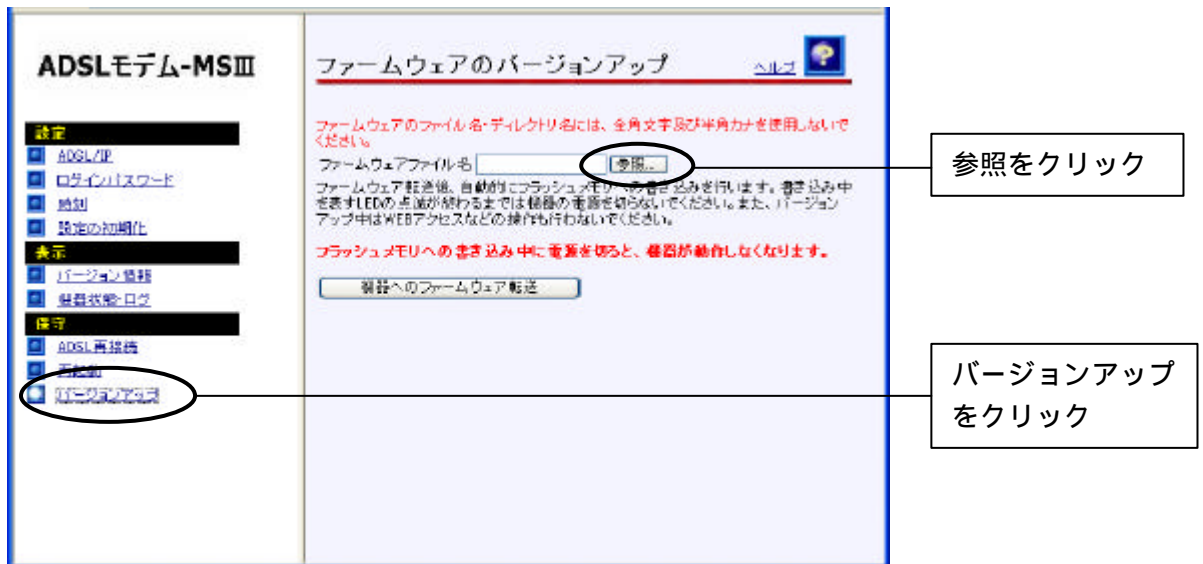


お知らせ

ディレクトリ(フォルダ)名に、<, >, ', ", ?, &, %, =, ¥, /, :, ;, ,, *は使用できません。

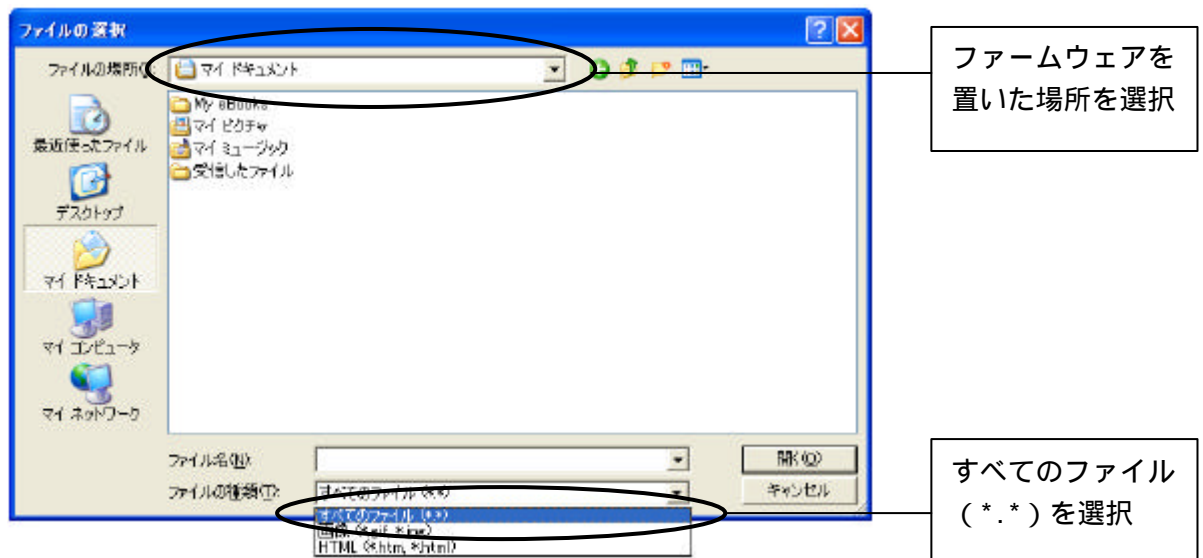
取扱説明書の「4-1 設定 Web 画面の表示」を参照して本商品の Web 画面にログイン後、メニューフレームから、バージョンアップ をクリックすると、操作フレームにファームウェアのバージョンアップ画面が表示されます。

参照... ボタンをクリックして、ファイルの選択ダイアログを表示してください。

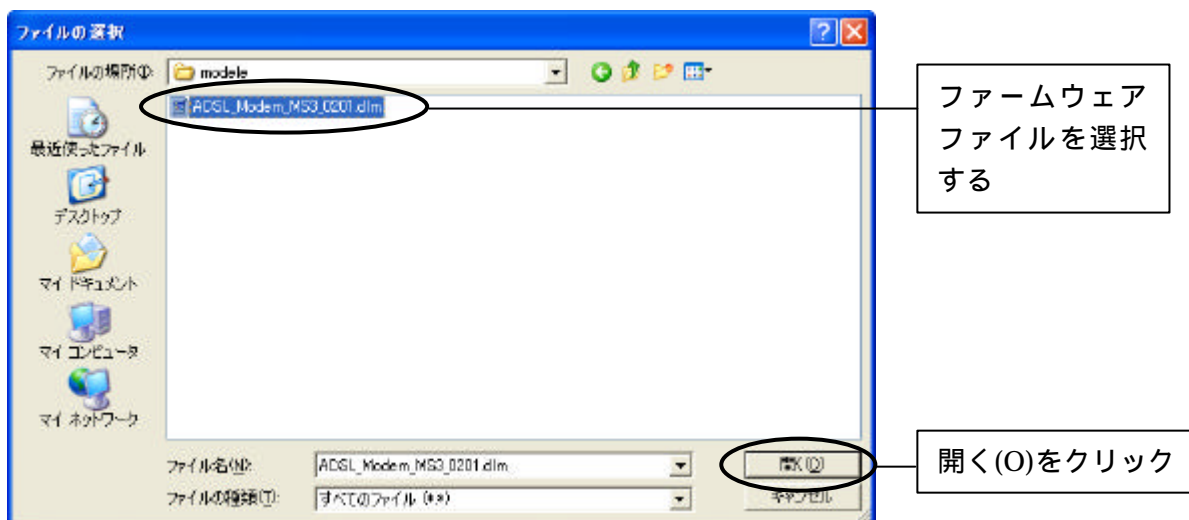


「ファイルの種類(I)」欄をクリックして、「すべてのファイル(*.*)」を選択してください。

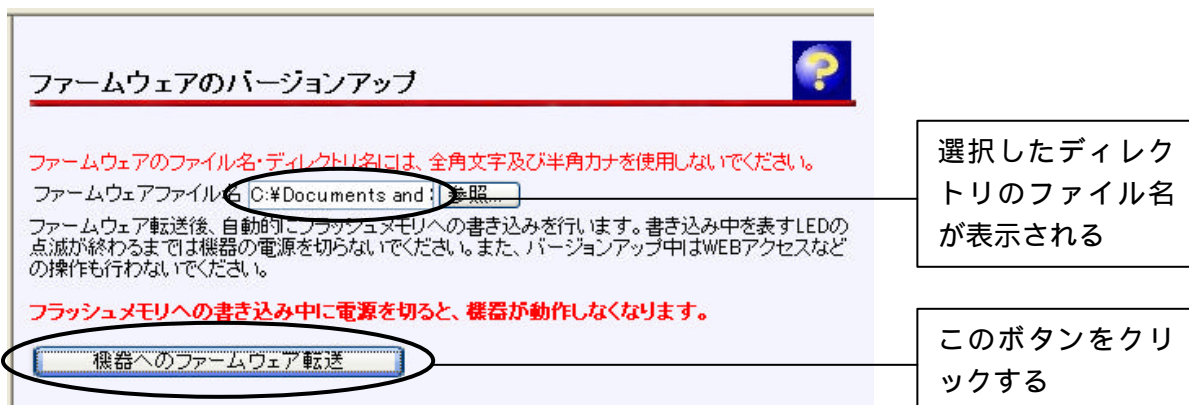
「ファイルの場所(L)」欄をクリックして、ファームウェアファイルを置いたディレクトリ(フォルダ)に移動してください。



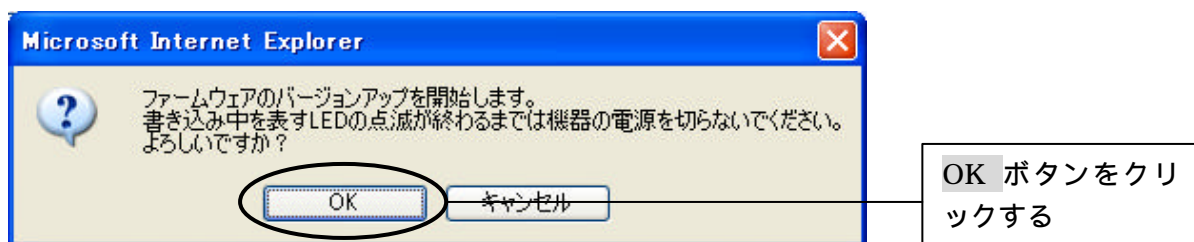
ファームウェアファイルを選択して、開く(O) ボタンをクリックしてください。



ファームウェアファイル名欄にファイル名が表示されます。
機器へのファームウェア転送 ボタンをクリックしてください。



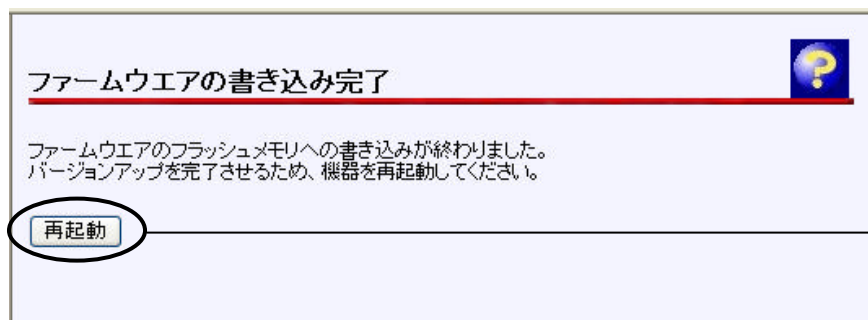
継続する場合は、OK ボタンをクリックしてください。
機器へのファームウェア転送が行われ、機器のファームウェア転送完了画面が表示されます。



STOP お願い

OK ボタンをクリックすると、ファームウェアを本商品に内蔵されたフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、INIT、LAN、およびALARMの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、絶対に機器の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が故障して動作しくなくなります。

ファームウェアの書き込みが終了すると、以下の画面が表示されます。**再起動** ボタンをクリックしてください。再起動後、新しいファームウェアで本商品が起動します。



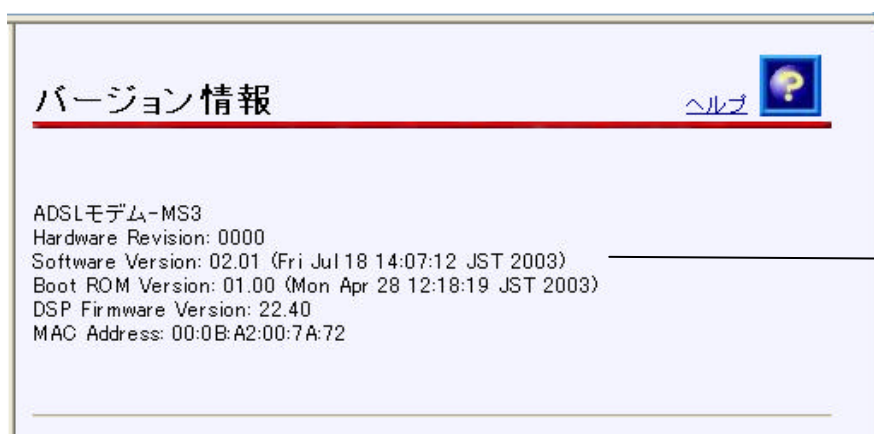
再起動ボタンをクリックする



お知らせ

本商品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種設定内容（時刻設定を除く）やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

機器の再起動が完了したら、メニューフレームから バージョン情報 をクリックしてください。操作フレームにバージョン情報画面が表示されます。



バージョン情報を確認する



お知らせ

ファームウェアバージョン 2.01での変更点について

ADSLモデムMS に本バージョンを適用すると、G.992.1 AnnexI対応が可能になります。

また、設定画面のADSL/IPIにあるADSL接続モードに、G.dmt固定（近距離）、G.dmt固定（中距離）、G.dmt固定（遠距離）が追加されます。ただし、お客様の契約によってはADSLモードを変更すると接続できない場合がありますので、モードを指定されない場合は、「自動選択」をお使いください。（詳しくは、次ページをご参照ください。）

ADSL接続モードについて

本商品のメニューフレームから、ADSL/IP をクリックすると、操作フレームに ADSL/IP 設定画面が表示されます。通常のご使用において本画面による設定変更は必要ありません。ネットワーク構成によっては設定の変更が必要となりますが、その場合は、以下の手順に従って正しい内容で設定してください。

ADSL/IP設定

ヘルプ

ADSL接続モード

自装置IPアドレス/マスク長 /

IPアドレスの自動割り当て (体装置へのアクセス用)

行う 行わない

開始アドレス

割り当てIPアドレス個数 (1-256)

IPパケット

- メニューフレームの ADSL/IP をクリックしてください。
操作フレームに ADSL/IP 設定画面が表示されます。

以下の項目について設定を行ってください。

ADSL 接続モード

ADSL の接続モードを、「自動選択」、「G.dmt 固定(近距離)」、「G.dmt 固定(中距離)」、「G.dmt 固定(遠距離)」、「G.lite 固定」から選択できます。
工場出荷時の初期値には、「自動選択」が設定されています。

- G.dmt 固定(近距離)では、局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex I が使用されます。
- G.dmt 固定(中距離)では、局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex C が使用されます。
- G.dmt 固定(遠距離)では、局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex C FBMs0L が使用されます。
- G.lite 固定では、局側装置の設定に関わらず、G.992.2 Annex C が使用されます。



お願い

通常は、「自動選択」を選択してください。ご利用のサービスタイプに合わせて、自動的に接続モード選択を行います。なお、20Mbps以上のサービスタイプでは、ADSL区間距離に応じた接続モード選択も自動で行いますが、G.dmt固定(近距離)、G.dmt固定(中距離)、またはG.dmt固定(遠距離)を選択することも可能です。電話局からの距離(電話線の長さ)は、回線のノイズ状態等によって異なりますが、近距離 = 2km程度以下、中距離 = 2km ~ 4km程度、遠距離 = 4km程度以上が目安です。ただし、G.dmt固定(近距離)、G.dmt固定(中距離)、またはG.dmt固定(遠距離)を選択した場合は、ご使用の条件によっては接続できないこともあります。